

会 議 録

1 会議名

令和7年度第1回八千浦区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

【自主的な審議】

・海岸線視察について（公開）

3 開催日時

令和7年5月20日（火）午後6時30分から午後7時00分

4 開催場所

八千浦交流館はまぐみ 多目的室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）

・委員： 大島会長、笠原（武）副会長、伊倉委員、笠原（幸）委員、木南委員、佐藤委員、竹田委員、平野委員、古岡委員、柳澤委員、渡邊（修）委員、渡邊（裕）委員（欠席者なし）

・事務局： 北部まちづくりセンター 内藤所長、勝島副所長、石崎係長、丸山主任

8 発言の内容

【勝島副所長】

・会議の開会を宣言

・上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告

【大島会長】

・挨拶

・会議録の確認：笠原（幸）委員、木南委員に依頼

議題【自主的な審議】海岸線視察について、事務局へ説明を求める。

【丸山主任】

これまで海岸線視察に向け、準備を進めている。3月の協議会では、視察場所やポイントについて、二つのグループに分かれて意見を出し合った。また、視察日時について、アンケートに回答していただいた。それらをもとに、資料を作成した。

・資料No.1「海岸線視察について」に基づき説明

【大島会長】

前回の会議で、皆さんから挙げてもらったところをピックアップしていただいた。順番については、バスで移動するので、一番効率のいいルートを最終的に決めると思う。資料を見て、ここは修正した方がいいという意見があればお伺いしたい。

私の意見としては、悪天候も考えられるので、上越火力発電所の見学は天候にかかわらず必ず含みたいと思い挙げている。あとは、皆さんから挙げていただいたポイントになる。新緑の季節になり、不法投棄のごみが非常に目立つようになってきたと日々感じている。これから各町内でクリーン作戦等があると思うが、この視察のほかにも、普段活動されていて、ここは気になるということがあれば、視察後の意見交換に盛り込んでもらってもよい。

事務局の説明に対し、質問等を求めるがなし。

特に大きな変更がなければ、この内容で進める。日にちは、6月26日木曜日の午後となっている。都合が悪く、参加できない方もいらっしゃると思うが、ご了承願いたい。

【平野委員】

先ほど会長から、雨天時の話があった。雨天でも火力発電所は見学できるが、そのほかについては、雨天の場合は中止になるのか、延期か。

【大島会長】

バスを使うので、バスから降りられないような悪天候であれば、バスの中からの視察になる。小雨程度であれば、バスから降りて、実際にどの辺にごみが多いのか、隠れている場所等を見られたらと思う。

【伊倉委員】

私は5月3日に西ケ窪浜で、海岸線のごみ拾いボランティアに参加した。その後、やちほ交流館はまぐみを会場に、地元の野菜の豚汁を食べたり、おにぎり作り等の調理をしたり、工作等の体験活動が行われていた。西ケ窪浜周辺の海辺から八千浦地区周回道路まで、それほど長い距離を清掃したわけではないが、途中で生ごみのようなものがたくさん落ちていて、「汚いな」と感じた。6月に入ると、八千浦地区でもクリーン作戦と

いうことで、ごみ拾い等をやると思うのでまた参加し、ごみの状況等を確認したい。

私の住む遊光寺浜町内の中部電力鉄塔跡地は、市の土地になっている。町内に2名ほど市から委託されて、年に2回ほど草刈り等をして整備している。今年はまだ草刈りをしていないので、草が伸びていると思う。ご承知おきいただきたい。

【大島会長】

ほかに意見を求めるがなし。

では、このまま進めさせていただきたいと思う。事務局には準備をお願いする。

続いて、5月3日に「やちほまつり」というイベントが初めて行われた。私は、都合で参加できなかったが、非常に興味がある。参加された渡邊（裕）委員に少しお話をお願いしたい。

【渡邊（裕）委員】

5月3日に、主に夷浜から西ヶ窪浜の海岸清掃と、木工、ボードゲーム、ヨガ、卓球、タイダイ染め、おにぎりを作る等の体験活動ができるイベントを計画し、やってみた。以前から個人的に海岸清掃イベントを開いていたが、行政や町内会とは違う視点で、海をきれいにする活動を子どもたち含め広めていきたいという思いがあり、今回は実行委員会を作って企画し、八千浦地区明るいまちづくり協議会の共催、八千浦小中PTAが協力する形で実施した。子どもたちを巻き込むため、今日出席の古岡委員が中学校のPTA会長をされているので、古岡委員にも実行委員に入っていた。

海岸清掃は、八千浦地区の町内会でも取り組んでいることはよく知っているし、参加もしている。私は、「自分の故郷・地元には海があり、大切な海を汚さない」という思いを子どもの時から育てたいと考え、個人的に活動していて、八千浦小学校の授業に呼ばれたこともある。

今回のイベントは子どもたちに気軽に海岸清掃に関わってもらいたいので、子ども中心の内容とした。私は思い立つとすぐに行動するタイプなので、細かい失敗はたくさんあったが、当日はPTAや八千浦地区明るいまちづくり協議会、消防団等いろいろな方が関わってくださり、たくさんの来場につながった。八千浦全体のイベントになってよかったと思う。

実行委員が4人しかおらず、これから集まって反省会をするが、できれば毎年やりたいと思っている。今回の資金源は、八千浦地区明るい町づくり協議会に無理を言って出してもらった。今後は、八千浦地域外からの参加者も見込まれるため、八千浦地域の

財源を頼らずやってみるのもいいのではないかとということで、お金の出所を考えているところである。参加人数が集まれば集まるほどお金がかかる。人を集めるとなるとどうしても予算が必要なので、これから課題として考えていきたい。

「海」をテーマに外部から人が来るということを八千浦地区全体で喜び、八千浦に住む人にも「海」という資源があることを実感してほしい。こんなに綺麗な、素晴らしい景色の海があるのは、八千浦の強みだと思っているので、住民で盛り上げていけたらという思いも今回のイベント実施の原動力である。

体験活動については、古岡委員から主にやっていただいたので、古岡委員にお話をお願いする。

【平野委員】

主催が「やちほまつり実行委員会」とあるが、私は初めて聞いた。どのような団体なのか。

【渡邊（裕）委員】

私はこのイベントを思いついて、古岡委員に声をかけた。古岡委員のお知り合いに様々なイベント開催経験がある方がいらっしゃって、声を掛け合って八千浦を会場にイベントをやってみようということで集まった4人の実行委員である。

【古岡委員】

海岸清掃の後に、体験活動というダブルイベントで、八千浦交流館はまぐみをほぼ全館貸し切って実施した。親子で八千浦産野菜の豚汁食事体験、おにぎり・卵焼き作りの調理体験、小さい椅子や携帯のスピーカーを作る木工体験、卓球体験、ボードゲーム体験、タイダイ染め体験、2階でヨガ体験と全部で7つの体験ブースを作った。7つ全ての体験料は大人から子どもまで一人ワンコイン500円という形で実施した。

当日は、ボランティアを含め、トータル80名の方からご参加いただいた。目標は100名ぐらいで、宣伝不足ではなかったかと反省する部分もあるが、参加された大人も子どもも、みんな楽しかったと言っていたイベントになったので、やってよかったと思う。

先ほど渡邊（裕）委員もおっしゃっていたが、やはり資金源の問題がある。来年度は地域独自の予算事業を活用して、年に一、二回開催できたらと思う。これは、八千浦地区の子どもたちの体験活動と、八千浦地区の海岸をきれいにしたいという思いの両方がある。

年間定期的に開催することでイベントを定着させ、八千浦地区以外からもお客さんが来てくれるようになると思う。今回のイベント当日は海に行ってチラシを配布したり、釣り人にチラシを配布したりして、宣伝をした。実際にイベントに来てくれたかどうかはわからないが、参加者の中では妙高から来てくださった方が数人いらしかった。少しずつ宣伝していけば八千浦のPRにもなると思うので、引き続きこのようなイベントも頑張っていきたいと思う。地域協議会からも、力をお借りしたいと思うのでお願いしたい。

【木南委員】

事務局へ質問する。今の資金面の問題で、海岸清掃と体験活動の「やちほまつり」について、こういった内容で地域独自の予算事業を活用することはできるか。体験活動の材料費等は対象となるか。

【内藤所長】

今回の「やちほまつり」当日は、私もお邪魔させていただいた。実行委員会の方とお話させていただいたところ、同じようなご相談をいただいている。細かい経費で対象にならないものもあるが、一つ一つご相談いただければ作り上げていけると思うので、申請いただければとお答えした。

【大島会長】

ほかに意見を求めるがなし。

これまで、情報発信の工夫についても地域協議会で話題になっている。今回のこのイベントをY o u T u b eなどに上げるところまで準備はしなかったか。

【渡邊（裕）委員】

していない。もったいなかった。今後に生かしたい。

【大島会長】

地域協議会としても、是非バックアップしていきたい企画だと思う。海岸清掃と地域を盛り上げるという二つの要素が含まれているので、非常にいいイベントだと思うし、八千浦地区では毎年恒例の「八千浦地区海まつり」だけを固定するのではなく、こういった新しい世代の動き、特に子どもたち参加のイベントを増やしていくと、地域が活性化するのではないかと思った。今後も期待しているし、協力していきたいと思う。

【平野委員】

事務局にお伺いしたい。先ほど木南委員から地域独自の予算の話があり、内藤所長が

今回参加されてご覧になられているが、地域独自の予算事業を活用できるか。これはいいことなので、次回は是非とも地域独自の予算事業で協力いただきたいと思います。

【内藤所長】

どんな経費がかかっているか、すべてお聞きはしていないが、ご質問いただいたのは、ヨガやボードゲームなどに携わる講師の方等の謝金は対象になるかというようなご質問があり、それも対象になるということでお答えした。

料理を作った場合の材料費も対象になるが、スタッフの皆さんの飲食代等は、対象にならないということとはご説明させていただいた。

【木南委員】

渡邊（裕）委員に八千浦地区明るいまちづくり協議会の立場でのお願いだが、先ほど Y o u T u b e 等のインターネットを活用した情報発信の話があった。八千浦地区内でも知らない方が多いと思うが、明るいまちづくり協議会でホームページを立ち上げているので、もしよければ、それに「やちほまつり」の様子を載せたいと思う。子どもたちの顔が、あまり見えないような写真がベストである。

【渡邊（裕）委員】

イベントの写真はある。海岸清掃では写真掲載承諾の方だけ 50 人くらいが集まって撮った集合写真がある。それを載せていただければ大変ありがたいので、また別件でお話しさせてもらいたい。

【大島会長】

次第の「4 その他」に移る。

3月27日に、直江津学びの交流館にて地域協議会会長会議があり、出席した。内容は、今日7時からお話しいただく地域自治推進プロジェクトの件である。会長会議の感想としては、各区協議会会長が出席している場であったが、不平不満のぶつけ合いが多く、私としてはあまり心よく思えなかった。一方で、各区の会長は地域への思いが強いということが分かった。

【大島会長】

ほかに意見を求めるがなし。

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 北部まちづくりセンター

TEL : 025-531-1337

E-mail : hokubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。